

世界アルツハイマーデー&月間 取組事例報告シート

(あて先) 日本図書館協会 認知症バリアフリー図書館特別検討チーム
メールアドレス: djla@jla.or.jp

自治体名	京都府		都 道 (府) 県		京都		(市) 区 町 村					
図書館名	京都市岩倉図書館											
連携先 該当に○→	○	庁内他部署 (右記に連携先名を記入)		京都市保健福祉局健康長寿企画課(⑤)								
	○	その他 (右記に連携先名を記入)		京都新聞社(①)・京都橘大学(③)・ 岩倉地域包括支援センター(②)・明德児童館(②)								
取組	展示				配布物		その他					
	資料	パネル	POP	その他	チラシ・ パンフ レット	ブックリス ト・パス ファイ ダー	その他	市民向け 講座	映画会	職員向け 研修	新聞等の 記事掲載	その他
該当に○→	○	○	○		○			○			○	○
内容	①「作ろう、私の特選記事!」×「認知症にやさしい図書館」(協力:京都新聞社メディア局) 実施日:10/1(金) 参加者:14名 内容:ファシリテーターは京都新聞社。新聞を媒介に和やかに交流を楽しんだ。壁新聞をみんなで作成する事で多様な価値観を共有できた。地域住民、若年性・高齢認知症の当事者やそのご家族、専門職など若い人からシニアまで様々な方が参加された。当事者から「思いきって来て良かった」との感想が寄せられた。同時開催:「認知症の人に関する日本の歴史年表」展示(協力:京都橘大学健康科学部 小川敬之教授) ②児童向け「認知症キッズサポーター養成講座」(主催:岩倉地域包括支援センター・明德児童館/協力:岩倉図書館、地元役員) 実施日:7/28(水) 参加者:小学生120名□ 内容:「認知症」について正しく学び、高齢者や認知症を自分事としてとらえ、ともに歩んでいこうとする意識を高める。図書館は「紙芝居・大好きなおばあちゃん」を読み、包括は「認知症ミニ講座」を担当。地元役員は「高齢者役」を務め、児童が「声かけ体験」を行った。 □ ③京都橘大学健康科学部の授業で司書が講義(授業名:「地域包括ケアシステム演習」) 実施日:10月13日 参加者:大学3回生34名 内容:司書が「認知症にやさしい地域づくり」や「デイサービスや認知症カフェでの実践例」を講義する。地域の課題解決に取り組んでいる図書館のプロセスを大学生が学習する。□ 講師:岩倉図書館、醍醐中央図書館司書 ④児童向け展示「年をとってどんなこと?」 実施日:10月1日~10月15日 ⑤展示「認知症にやさしい本棚」 実施日:10月1日~令和4年3月31日 内容:予防、治療、介護、制度、小説や絵本、闘病記、回想法やレクリエーションの本等約90冊を分類し展示。京都市保健福祉局等作成のパンフレット等も配架											
写真①「作ろう、私の特選記事」  写真②「認知症キッズサポーター養成講座」 												

「作ろう、私の特選記事！」 ×「認知症にやさしい図書館」

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、和やかに交流を楽しみましょう！

日時：令和3年10月1日（金）午前10時～11時

【雨天の場合、10/8（金）午前10時～11時に延期】

申込方法：事前申込制 15名

【9月1日（水）から受付 直接カウンターかお電話でお申し込みください】

対象：どなたでもどうぞ（認知症の予防やサポートにも）

会場：岩倉図書館（中庭のウッドテラス）

進行役：京都新聞社メディア局 読者交流センター長 石崎 立矢氏

おもしろい記事・気になる記事！
新聞を中心に、みんなで意見交換
一緒に楽しみましょう♪



↓ こんな内容です

1. 図書館が全国紙や地方新聞を用意します
2. 各々が好きな新聞を読み、その中から「気になる！」「おもしろい！」と思った記事を選びます
3. なぜその記事を選んだのかを、紙面の上段に記入します
4. 3で作った紙面の下段に、他の人がコメントを書きます
5. 4のできあがった壁新聞をみんなで見て、多様な考えや出来事を楽しみましょう！

【参考資料：「まわし読み新聞をつくろう！」（著者 陸奥 賢／創元社）】

特別展示「認知症にやさしい本、集めました」も同時開催！

会場・申し込み先

京都市岩倉図書館（京都バス「岩倉農協前」下車すぐ）

左京区岩倉下在地町16 ☎ 075-702-8510

主催：岩倉図書館 協力：京都新聞社メディア局

- マスクの着用をお願いいたします
- 新型コロナウイルス感染症の影響により催しを中止する場合があります